

春日市公私連携型保育所の業務実績評価【対象年度:令和7年度】

施設名	春日白水保育園	平成28年4月1日 指定管理から公私連携型保育所に移行 園舎は法人が建設平成29年4月1日供用開始	
公私連携保育法人	社会福祉法人 春日福祉会		
担当所管	こども未来課 保育担当		

指定期間	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
年 度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
		前年度比	前年度比	前年度比	前年度比
利用者数	合計 182人	159人	157人	166人	156人
施設内訳					

分類	履行確認項目	評価の視点	確認内容	評価	特記事項
施設維持管理	清掃	・適正に実施されているか ・衛生管理は適切か			
	設備保守点検	・適正に実施されているか ・事故等が発生していないか ・不具合の対応は適切か			
	警備	・適正に実施されているか ・事故等が発生していないか ・不審者対策は適切か			
	小規模修繕	・適正に実施されているか ・不具合の対応は適切か			
運営業務	運営状況	・公共性・公平性を確保しているか ・協定書・事業計画等どおり実施しているか ・ホームページや園だより等に掲載しているか	・行事計画、事業計画・実績報告及び現地確認 ・延長保育、障害児保育等の実施記録 ・市と連携した適正な入所手続き状況の把握 ・広報活動や情報提供等の実施状況の把握	○	・ホームページに運営状況を掲載し情報公開している。
	サービス水準の維持	・サービスの水準を維持する努力はなされているか ・課題解決の努力をしているか	・事業報告書及び現地確認 ・保育や給食研修等への参加状況 ・課題解決の取り組みや保育方針の報告	◎	・児童登降園管理、保護者への連絡一斉送信、園・保育日誌、年・月間カリキュラムの管理システムを導入し、生産性の向上とペーパーレス化を図った。 ・発達に問題がある児童が心身ともに満たされ、集団生活の中でも安心して生活していけるためのサポートとして、児童発達支援等の事業所に繋ぐことがある。 ・これまで3歳以上児を重点を置いていた発達支援の視点を3歳未満児へ広げ、園全体の観察・サポート体制を強化している。 ・保育士による自己評価を実施し、結果をホームページ等で公表している。 ・毎年年度末に保護者アンケートを実施し、結果をホームページ等で公表している。
	利用状況の把握	・事業報告書及び現地確認 ・保育や給食研修等への参加状況 ・課題解決の取り組みや保育方針の報告	・保育所運営費請求書、延長保育利用状況報告書及び現地確認 ・通常保育や延長・障害児保育等利用者数の把握、児童欠席簿の確認	○	
経理状況	収支決算状況	・適正に執行されているか ・管理コストが上昇していないか	・資金収支予算書・決算書及び現地確認 ・帳票の管理、収支状況報告 ・予算と決算の比較 ・利用者当たりの管理コスト(支出/利用者数) ・保育料等の比率(利用料金/収入)	○	・県の指導監査においても概ね良好との評価である。
運営	人員の適正な管理	・人員の適正な配置(保育所最低基準)か ・継続的なレベルの維持に努めているか	・運営費請求書・実績報告書(職員名簿)及び現地確認 ・人員の配置状況・勤務体系 ・指導・研修体制 ・知識・経験を有する人の配備	○	年間計画に基づき、職員に各種研修を積極的に受講させている。
	利用者の苦情・要望等の対応体制	・苦情等への対応は適切か	・報告書提示及び現地確認 ・苦情・要望への対応体制(第三者委員会)の有無	○	・苦情解決のための体制は整備されている。

当体制	危機管理体制の確保	・事故・災害発生時の対応はできているか	・防災(消防)計画、避難訓練記録及び現地確認 ・緊急連絡やマニュアル等の作成	◎	・毎月の火災訓練、年2回の地震訓練、水害訓練、年3回の不審者訓練を実施 ・防犯カメラを施設内、園庭、駐車場計12ヶ所設置 ・火災発生通報専用電話機設置及び警察直通非常ボタン設置 ・不審者対策として警察直通の非常ボタンを設置
	関係機関・地域との連携体制	・連携を図るための組織・体制を整えているか ・保護者や地域と一体となった利用状況か	・事業報告書及び現地確認 ・定期的な情報交換等の開催実績 ・保護者や地域の子育て支援状況や行事の把握	○	・関係機関とは、連携を図っている。 ・就学前の配慮を要する児童について、小学校と情報の引継ぎを行う。 ・年長児は和太鼓の稽古を行って下白水地区の夏祭りに参加し披露している。7月夏祭り参加 ・園行事への案内や園庭開放、敬老の集いに参加するなど地域との交流を行っている。
その他	福岡県指導監査状況	・指導監査指摘事項の改善状況等は適切か	・監査資料に基づく各項目の状況及び現地確認	○	・県及び市の指導監査において指摘はあったが、既に改善に向けた対応がなされている。(ヒヤリハット報告書は事故報告書を分けて記録し、職員間で事故防止のため情報共有するよう指摘あり。)
	保健衛生管理体制	・保健衛生管理体制は適切か	・事業計画・保健だより及び現地確認 ・乳幼児や保育所職員の健康診断の実施状況 ・感染症や食中毒予防等の助言・指導状況	○	

評価内容	特記事項
協定書等での規定はないが、自主的に取り組まれているもの	・保育所園庭で夏野菜、冬野菜と四季に応じた菜園活動を行い、子どもたちに野菜を見る、触れる、におう、名前を知るといった学びの場を与えたり、梅干しづくりの体験など、積極的に食育の取組を行っている。 ・腸内環境を整え免疫力を上げる食材を給食に取り入れている。 ・幼保小連携事業に協力的に取り組みを行っている。 ・各保育室へのPC設置、WIFI設定、システム導入など、業務のICT化に積極的に取り組んでいる。

評 価	コメント
A 優れている。	・緊急時にすぐに情報の伝達ができるための外用のスピーカーの設置、火災発生や不審者対応等のための非常ボタンや防犯ビデオの設置など、安全対策に余念がないことは、高く評価できる。 ・積極的な食育の取組や給食の食材のこだわりは高く評価できる。 ・幼保小連携事業に協力的に取り組みを行っている。 ・ICTを活用して職員の業務軽減を図る取組を積極的に行っている。 ・保育士による自己評価及び保護者アンケートを実施し、サービス水準の維持に尽力している。 ・監査による軽微な指摘事項はあったが、概ね良好な運営状況であった。